

地域気象観測システム(アメダス)の停電対策の強化

3か年緊急対策

国土強靱化

NATIONAL RESILIENCE

災害時の効果発揮事例

概要 要: 気象観測継続のため、アメダスの非常用電源の強化や可搬型電源ユニットの整備を実施。石川県珠洲市では、地震発生後、長期間の停電が生じたが、非常用電源の稼働や可搬型電源ユニットの設置により、アメダス観測を継続することができた。

対策名: 95 気象・地震等観測施設の継続性確保に関する緊急対策<3か年緊急対策> 【気象庁】

- 実施主体: 気象庁
- 実施場所: 石川県珠洲市(ほか各都道府県で実施)
- 事業概要: 大規模災害に伴う停電時にも、雨量などの気象観測を継続できるよう、地域気象観測システム(アメダス)の非常用電源を強化。また、気象観測施設の継続性確保のための可搬型観測・通信・電源装置を、各都道府県の拠点となる気象台に整備。
- 事業費: 約17億円 ※

主な事業	実施内容	事業費	実施期間
地域気象観測システム(アメダス)の電源強化、可搬型雨量計等の整備	電源強化、代替施設整備	約17億円	H30、R2
うち3か年緊急対策	電源強化、代替施設整備	約17億円	H30、R2

※予算額はアメダスの電源強化 全661か所
可搬型雨量計等の整備 全58か所の総額

- 効果:
 - 珠洲地域気象観測所(石川県珠洲市)において、令和6年能登半島地震(珠洲市で震度6強)により、地震発生後停電が発生。
 - 強化した非常用電源の稼働や、可搬型電源ユニットを現地に設置することにより、停電復旧までの19日間雨量などの気象観測を継続。



強化した非常用電源
(バッテリーの増強)



珠洲 地域気象観測所(アメダス)